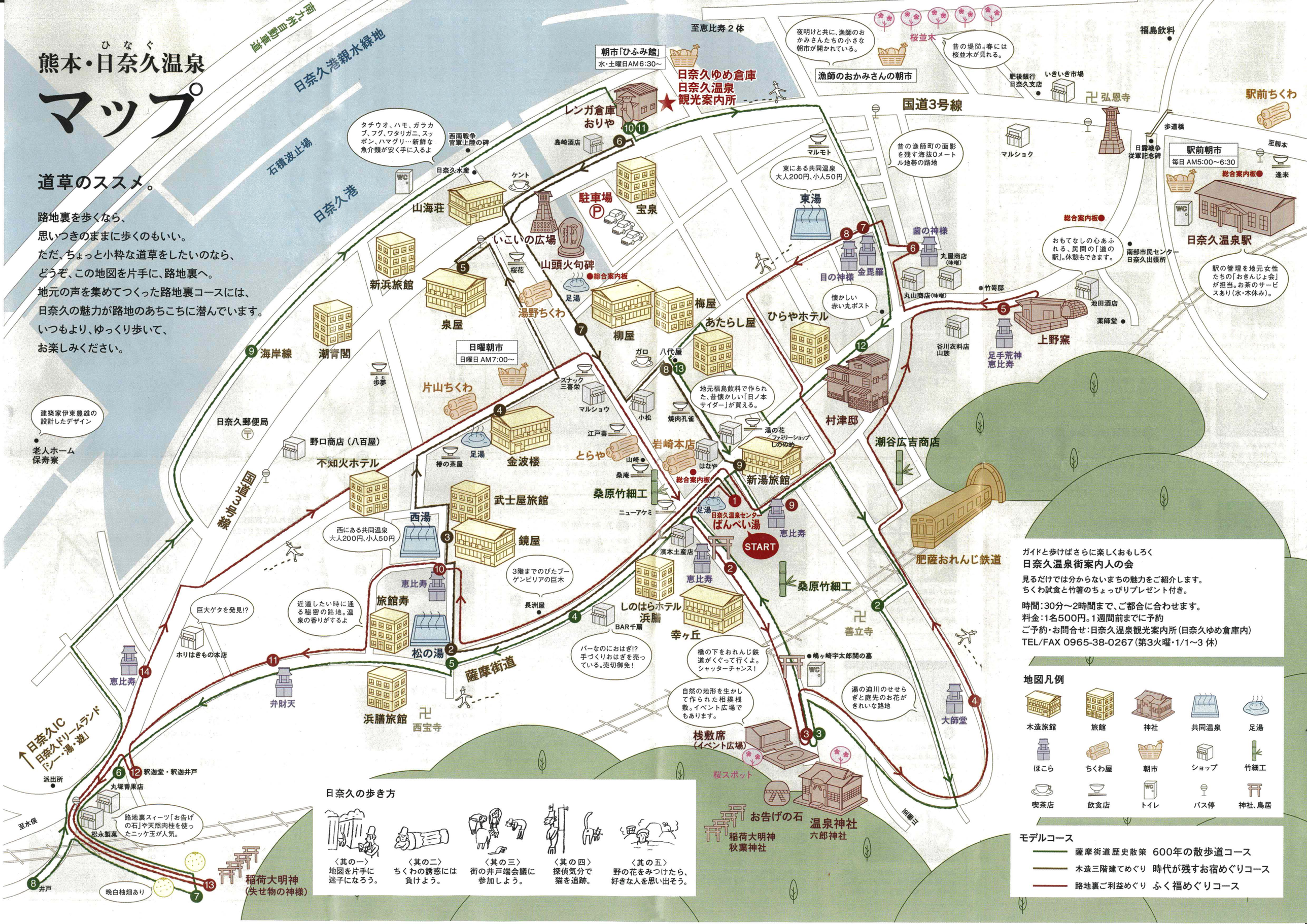
熊本・日奈久（ひなぐ）温泉 マップ

道草のススメ。

路地裏を歩くなら、
思いつきのままに歩くのもいい。
ただ、ちょっと小粋な道草をしたいのなら、
どうぞ、この地図を片手に、路地裏へ。
地元の声を集めてつくった路地裏コースには、
日奈久の魅力が路地のあちこちに潜んでいます。
いつもより、ゆっくり歩いて、
お楽しみください。



熊本・日奈久（ひなぐ）温泉
路地裏ツーリズムおすすめコース

薩摩街道歴史散策 600年の散歩道コース

所用時間 90〜120分

遠い昔と同じ道を辿る、路地裏散歩。日奈久に繁栄をもたらした温泉発見から600年。これまで多くの旅人たちが行きかった街道や街の歴史を辿りつつ、山頭火が泊まった宿やレンガ倉庫などを見学しながら、温泉街をぐるっとひとまわり。日奈久通になれる散歩道です。

1 温泉センター ばんぺい湯
細川藩の藩営温泉だった「本湯」をイメージした和風造りで、開湯600年を迎えた2009年オープン。

2 善立寺（日奈久中町）

真宗西本願寺派の古寺。本堂に250年前の龍の彫刻があるほか、四季折々の花が楽しめる花寺である。

3 温泉神社

1409（応永16）年、浜田六郎左衛門が父の刀傷を癒そうと祈り、神様のお告げを受けて温泉を発見した伝説が残る。祭神は市杵島姫命。

4 薩摩街道
起源を辿れば、江戸時代初めの参勤交代制の時代から続く歴史ある道。

5 松の湯（日奈久中西町）

1930（昭和5）年創業の共同温泉。昭和初期の建築様式を残し、番台が外にあるのも特徴の一つ。

6 釈迦堂・釈迦井戸（日奈久下西町）

1922（大正11）年に広がった、流行病を鎮めるために建立された。

7 稲荷大明神
本来は穀物・農業の神様で、現在では開運、商売繁盛の神様。地元では、失せ物の神様としても知られている。

8 下塩屋の井戸

以前は地域の飲料水として利用されていた。冷たい水は現在でもお茶等に使われている。

9 海岸線（石積波止場）

1864年、イギリスの黒船が来航。1877（明治10）年の西南の役では官軍が上陸した港。

10 おりや（日奈久中町）
1930（昭和5）年9月、放浪の俳人種田山頭火が宿泊した宿として、全国で唯一現存する木賃宿。内部を見学することができる。

11 レンガ倉庫
港であがった魚介類を保存するためにあったこの建物は、現在コンサートやギャラリー会場として活用されている。

12 村津邸（日奈久東町）
1862（文久2）年築の町屋で、道路に面する母屋、北倉、西倉からなり、壁面は黒の瓦と白の漆喰塗りのコントラストの美しいなまこ壁が残る。貴重な町屋建築である。

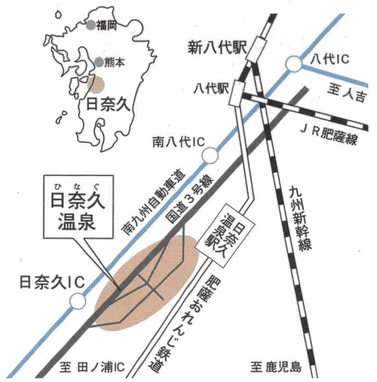
13 八代屋（日奈久中町）
1877（明治10）年には営業を始め、1階は玄関、茶の間、座敷、浴場がある。西南戦争時の砲弾跡が残る、貴重な建物。

交通アクセス

■電車で
ＪＲ新八代駅または八代駅から
肥薩おれんじ鉄道にて
日奈久温泉駅まで12分

■車で
福岡ICから日奈久ICまで2時間、
熊本ICから日奈久ICまで45分

■飛行機で
熊本空港より
バスにて八代駅まで60分、
車にて日奈久ICまで60分



観光・宿泊のお問合せ

日奈久温泉観光案内所（日奈久ゆめ倉庫内）
〒869-5135 熊本県八代市日奈久中町516
TEL 0965-38-0267（毎月第3火曜日・1月1〜3日休）
www.hinagu-kankou.com

八代よかとこ宣伝隊
TEL 0965-31-8200

発行：八代市

日奈久温泉センター ばんぺい湯

2009年オープンで、「本湯」をイメージした和風造り。
1階　物産館、公衆浴場（大人200円 小人50円）
2階　食事処、大浴場（大人510円 小人300円）
3階　家族風呂（1,020円〜※入浴料別）
TEL 0965-38-0617 営業時間 10:00〜22:00

木造三階建てめぐり 時代が残すお宿めぐりコース

所用時間 30〜60分

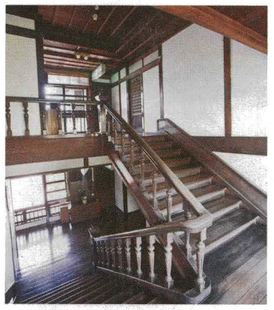
日奈久流・旅館建築のススメ。いにしえより旅人をもてなしてきた日奈久には、数奇の精神と匠の技が結集した旅館建築があります。木造三階建て建築や近代数奇屋を思わせるその造りは、今もなお輝き、私たちに驚きや感動を与えてくれるはずです。

1 温泉センター ばんぺい湯
細川藩の藩営温泉だった「本湯」をイメージした和風造りで、開湯600年を迎えた2009年オープン。

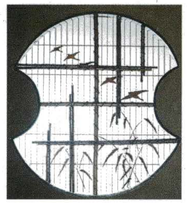
2 松の湯（日奈久中西町）
昭和5年創業の共同温泉。昭和初期の建築様式を残し、番台が外にあるのも特徴の一つ。

3 鏡屋（日奈久上西町）
1887（明治20）年創業。旅館内は天井が低く入り組んでおり、浴室の湯船が3槽に分かれているのも特徴。湯治の長期滞在者も多い。

4 金波楼（日奈久上西町）
1910（明治43）年創業で、現存する旅館の中でもっとも規模が大きい。2階の80畳の大広間には、皮付きの自然木など銘木を用いた数奇屋風の意匠を、随所に見ることができる。

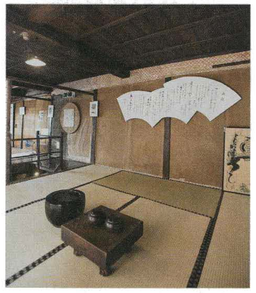


5 泉屋（日奈久中西町）



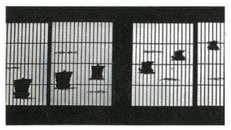
1927（昭和2）年に建築された木造三階建て。3階の各客室は、部屋ごとに異なる折上格天井や猿頬天井など、室内意匠に凝った造りを見ることができる。

6 おりや（日奈久中町）



1930（昭和5）年9月に、山頭火が3日間宿泊した宿としても知られる。隣接して左側に、レンガ造りの倉庫が残る。

7 柳屋（日奈久中町）



1889（明治22）年創業。内部は各部屋ごとに異なる書院造りなど、数奇屋風意匠となっている。

8 八代屋

1877（明治10）年には営業を始め、1階は玄関、茶の間、座敷、浴場がある。西南戦争時の砲弾跡が残る、貴重な建物。

9 新湯旅館（日奈久中町）

1915（大正14）年創業。総タイル張りの浴場、意匠を凝らした客室など趣があり味わい深い。階段は桜の一枚板で組まれ、木釘を使って建てられ、建築当初から3mmしか傾いていないと言われる。

路地裏ご利益めぐり ふく福めぐりコース

所用時間 60〜90分

街角に住む、日奈久の神様たち。日奈久の路地裏には、目の神様や歯の神様、手足の神様に、失くし物の神様まで、実にユニークな神様がたくさん住んでいらっしゃいます。街の人々や旅人たちの傷や病を癒し、心を癒してきた神様たちへ会いにでかけませんか。

1 温泉センター ばんぺい湯
細川藩の藩営温泉だった「本湯」をイメージした和風造りで、開湯600年を迎えた2009年オープン。

2 恵比寿（日奈久上西町）

温泉神社の参道沿いにある恵比寿さま。大漁と商売繁盛の神様。

3 温泉神社

温泉発見以来、親孝行の神様として、また日奈久の氏神として守られてきた。

4 大師堂

学問や、体の痛みを取り除く神様として、大切にされている。

5 足手荒神・恵比寿（日奈久東町）

上野窯の裏手にある、手足の神様。町内外から多くの人が訪れる。

6 歯の神（日奈久浜町）

約100年前に、現在の場所に建立された歯の神様。年の数だけ、石ころをお供えし祈願する。

7 金毘羅（日奈久東町）

船の航行安全など、海の守り神として信仰されてきた。漁師には大漁祈願もあったかもしれない。

8 目の神（日奈久東町）

小さな祠で、昔、目の見えない按摩さんが寄贈したと言われている。

9 恵比寿（日奈久中町）

漁村で、福の神として信仰されていたが、後に農家、商家でも祭られるようになり、商売繁盛の神様にもなった。

10 恵比寿（日奈久中西町）

大漁と商売繁盛の神様。恵比寿さまの表情もやさしく、のんびりとした空気が流れている。

11 弁財天（日奈久中西町）

音楽や技芸の神様で、七福神の一人。日奈久の芸姑たちが昔、弁財天に自分たちの技術向上を祈願した。

12 釈迦堂・釈迦井戸（日奈久下西町）
大正11年に広がった、流行病を鎮めるために建立された。旧暦の4月8日に祭礼がある。

13 稲荷大明神

本来は穀物・農業の神様で、現在では開運、商売繁盛の神様。地元では、失せ物の神様としても知られている。

14 恵比寿（日奈久下西町）

大漁と商売繁盛の神様。下西町の国道沿いに祭られている。